

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第6号

第6週(2月2日~2月8日)

発行年月日:平成16年(2004年)2月13日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

*感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律が平成15年11月5日から施行されました。

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (6週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀	全国	滋賀	全国 ^(*)
			(6週)	(6週)	(6週)	(6週)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	1	31	7	459
	パラチフス	0	0	1	0	38
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	38	8	2635
4類感染症	エキノコックス症	0	0	5	0	17
	オウム病	0	0	4	1	44
	ツツガムシ病	0	0	36	1	380
	レジオネラ症	0	0	12	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	47	3	504
	ウイルス性肝炎	0	0	24	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	19	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	3	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	0	67	8	949
	梅毒	0	1	56	2	493
	破傷風	0	0	4	1	69
	急性脳炎	0	0	0	0	98

(*1)平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2)定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	35.55	44.18	42.30	36.57	31.50	26.00	21.20	36.00	
RSウイルス感染症	0.13	0	0.33	0	0	0	0	1.00	
咽頭結膜熱	0.09	0	0.33	0	0	0.25	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	1.12	0.43	1.50	1.00	2.60	0.25	1.00	1.00	
感染性胃腸炎	5.15	9.57	10.33	2.25	2.40	4.00	0.80	0	
水痘	1.70	1.71	2.17	0.75	1.60	3.50	1.00	0.50	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.21	0.43	0.17	0.50	0	0.25	0	0	
突発性発疹	0.64	1.00	0.67	0.50	0	0.50	1.00	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.30	0.71	0.17	0.50	0	0	0.20	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	2.00	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

インフルエンザの発生は、増加傾向持続

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(1月26日～2月1日)の報告数より多くなっており、特に、インフルエンザの報告数は先週にひきつづき増加しています。また、疾患別ではインフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等の定点当たり患者数は増加していますが、RSウイルス感染症、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数 33.37より増加し35.55となっています。**大津、草津、水口、八日市、今津**保健所管内において非常に多くなっています。特に、草津および八日市保健所管内の定点当たり患者数は、先週と比較すると急増しており、それぞれ、42.30、31.50となっています。

インフルエンザの予防についての十分な注意が必要です。

インフルエンザに対する一般的な注意

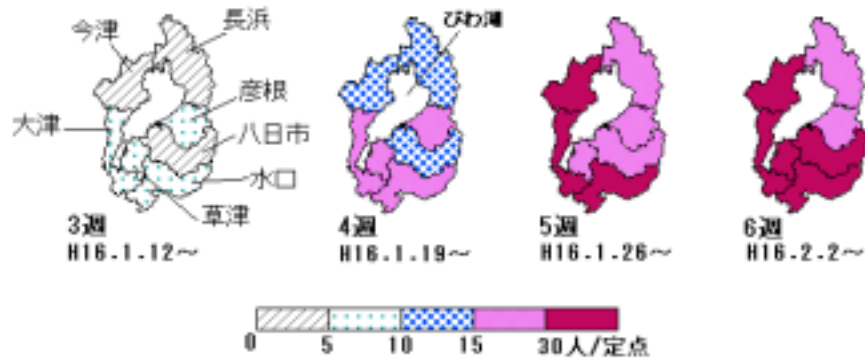
- 1.外出時には、マスクを使用する。
- 2.帰宅時には手洗いとうがいを心がける。
- 3.睡眠を十分にとり、栄養に気を配る。
- 4.室内を適度な湿度に保つ。
- 5.人混みに出かけることをなるべく避ける。
- 6.早めに医療機関を受診する(受診する際には、マスクを着用する)。

A群溶連菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数より増加し1.12となっており、昨年の同時期の定点当たり患者数 0.44よりかなり多くなっています。特に、**八日市**保健所管内では2.60となっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数 4.06より増加し5.15となっています。

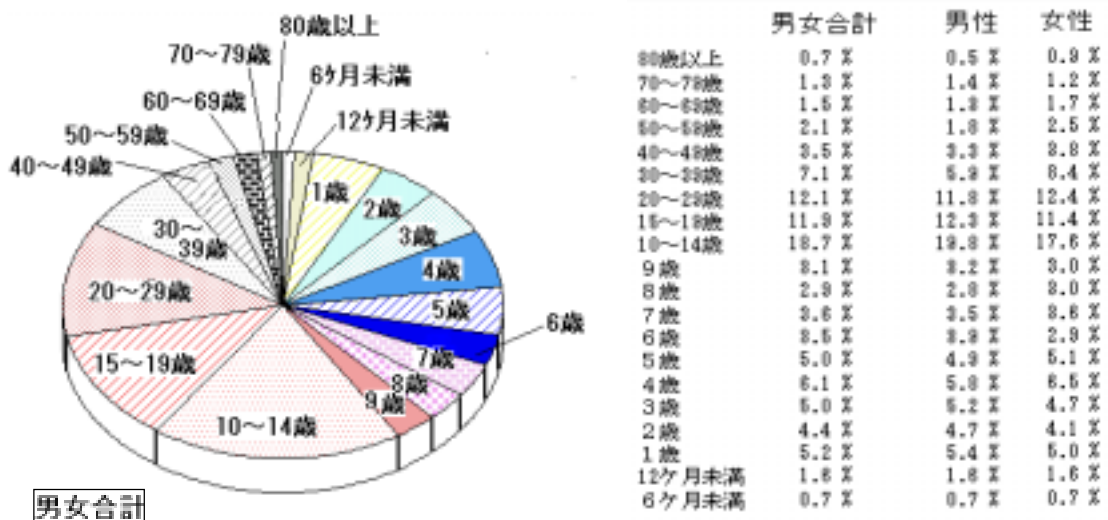
インフルエンザの週別発生状況および年齢別発生状況は下記のグラフのとおりです。

インフルエンザの週別発生状況(平成16年第3週～平成16年第6週)

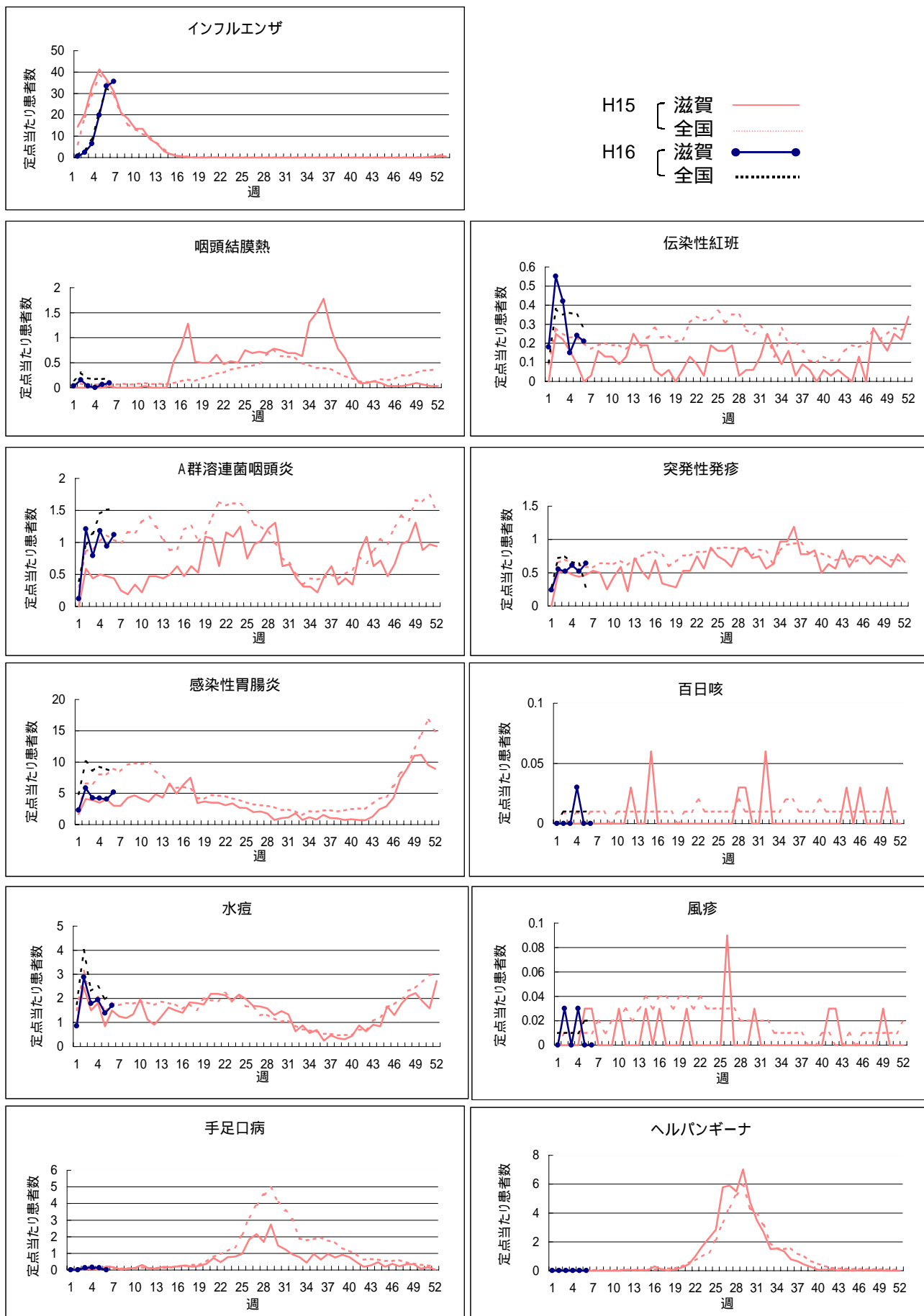


平成16年第6週の各保健所管内の定点当たり患者数についてみると、長浜および彦根をのぞく県内のすべての保健所管内において、30人以上/定点となっています。今後のインフルエンザの発生状況に注意する必要があります。

インフルエンザの年齢別発生状況(平成16年第1週～平成16年第6週)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第6週)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第6週)

H15 [滋賀 ———— 全国] H16 [滋賀 ●——● 全国]

